

# 消毒用エタライト液

外用殺菌消毒剤

飲用不可

1. 亜硝酸ナトリウムを添加すること。
3. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- ※**安定性試験**(1)：最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、消毒用エタライト液は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。
- ※**【包装】**500mL(減容・ジャバラ減容)、5L、10L、16L
- ※**【主要文献】**  
(1)ヤクハン製薬株式会社 社内資料:安定性試験
- ※**【文献請求先】**  
日医工株式会社 お客様サポートセンター  
〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21  
☎(0120)517-215 Fax(076)442-8948

# 消毒用エタライト液



## 500mL

日本標準商品分類番号
872615
承認番号 21600AMZ00110000
薬価収載 2004年7月
販売開始 2004年4月

《貯法》  
遮光した気密容器  
使用期限(上段)、  
製造番号(下段)は  
容器底部に記載

<b>火気厳禁</b> 第4類アルコール類 危険等級Ⅱ 水溶性	月 日 開封
	月 日 期限

販売元  
**日医工株式会社**  
NICHIKO 富山市総曲輪1丁目6番21

製造販売元  
**ヤクハン製薬株式会社**  
北海道北広島市北の里27番地



単位用包装割合

(01)04987376979788

販売包装単位用GS1コードは  
背面へ記載



キャップ: PP  
容器: PE  
ラベル: PE

ラベルと容器は同じ材質ですが、  
分別は各自治体が定める方法に  
従って下さい。

# 消毒用エタライト液

※2014年2月改訂(第4版)  
2008年4月改訂

**【禁忌】(次の部位には使用しないこと)**  
損傷皮膚及び粘膜 [刺激作用を有するので]

**【組成・性状】**  
本品は定量するとき、エタノール(C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O) 76.9～81.4 vol%を含む。添加物としてイソプロピノールを含む。本品は無色透明の液で、特異なおいがある。

**【効能・効果】【用法・用量】**

効能・効果	手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒
用法・用量	本品をそのまま消毒部位に塗布する。

- 【使用上の注意】**
- 1. 重要な基本的注意**
- (1) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (2) 広範囲又は長期間使用する場合、蒸気の吸入に注意すること。[エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]

**2. 副作用**  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等
皮膚 <sup>注)</sup>	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

# 消毒用エタライト液

**3. 臨床検査結果に及ぼす影響**  
注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

- 4. 適用上の注意**
- (1) **投与経路** 外用にのみ使用すること。
- (2) **使用時**
- 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
  - 本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療機器等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。
  - 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
- 5. その他の注意**  
経皮的エタノール注入療法(PEIT)には使用しないこと。

**【薬効薬理】**  
本剤は、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等(有効であるが、細菌の芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない)。

- 【取扱い上の注意】**
- 飲用不可
  - 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2～1.0%の<sup>1)</sup>